新庄小

# センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～１２月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

美しものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なるものに触れたときの感覚、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情などの様々な形の感情がひとたびよびさまされると次にその対象についてもっと知りたいと思うようになります。そのようにして見つけ出した知識はしっかりと身につきます。　　レイチェル・カーソン「センスオブワンダー」より

快晴で雲一つない日は、雨や曇りの日とちがい、すっきりした気分になる。天気によってこんなにも、気分が変わるんだな。（６年女子）

朝ご飯を食べていたら、ご飯から湯気が出ているのが見えた。その湯気は金色に見えて、とても美しかった。（５年女子）

真っ白い雪の上に、ねっころがったら、空は青かった。雪はふかふかでやわらかくて、おふとんのようだった。気持ちよかった。（４年女子）

友だちが、ぷんぷんおこっていた。わたしは「ハートがひらかなかったんだな」と思った。（２年女子）

学校の帰り道、にじを見つけた。家の近くでも見つけた。にじも、動いているのかな。にじのむこうには、何があるのかな。（２年女子）

強い風で木がばさばさゆれていたが、たおれなかった。「しっかり根をはっているからたおれないぞ」と言っているみたいだった。（３年男子）

お月さまが、ぼくたちの車をおいかけてきた。どっちがはやいかわからないほど、お月さまもはやかった。びっくりした。（１年男子）

夜、街灯のないところでも、月の光でかなりの物が見えた。月の光って、すごく明るいんだと思った。（６年女子）

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第６号　Ｒ３．１２．２２